

いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



岩井やすのり



1970 年 (昭和 45 年) 生まれ 県立君津高卒
専修大卒、早稲田大大学院 政治学研究科修了

事務所連絡先 Fax : **0476-36-7802**

HP : <http://www.iwai-y.jp> メール : mail@iwai-y.jp

印旛郡栄町安食台 2-26-23 (栄町役場前大山ビル 2F)



twitter



blog



facebook

印西牧の原駅へのアク特急停車 県に強く要望

周辺人口の増加が著しい印西牧の原駅。県議会本会議において、アクセス特急停車などの取組みを求める一方、連合自治会からは北総鉄道社に要望書が提出され、地域の声は大きくなりつつあります。

●「特急電車への乗り換えが必要で不便」

昨年 10 月に鉄道運賃が値下げとなり、特に子どもが通学利用する家庭の負担軽減が実現した北総線。しかし、印西牧の原駅を通勤等で利用する市民からは、アクセス特急が停車しないことについての不便の声が上がってきました。

印西牧の原駅に停車するのは、普通電車と北総鉄道・特急電車の上り 5 本、下り 2 本のみ。朝夕を問わず運行されるアクセス特急が停車しないため、「特急電車への乗り換えが必要で不便」との切実な声が聞かれます。

●県「北総鉄道社と意見交換していく」

ところで、千葉県は北総鉄道社の株式を 20% 以上も保有する、京成電鉄社に次ぐ大株主です。しかし、これまでは年に 1 回程度、北総鉄道社から経営に関しての報告を受けるのみで、県民福祉の向上に資する働きかけはほぼ皆無でした。

県に「もの言う株主」になれと言うつもりは毛頭ありませんが、同線を通過するだけの空港利用客ばかりでなく、日々利用する沿線住民にも目を向け、その利便性向上への働きかけにより積極的であるべきと考えます。

9 月県議会では、アクセス特急が停車しない印西牧の原駅の現状を指摘。県は「北総線の利用者サービスの向上の確保の取組みに関することも含

印西牧の原駅へのアクセス特急停車について
京成電鉄社からの回答(令和元年)

- ・同駅の乗車人員は、千葉ニュータウン中央駅等と比較しそう多くない
- ・印旛日本医大駅は、同駅から上り方面へと向かう他列車への乗換え駅であるため、アクセス特急の停車駅となっている
- ・白井駅等にはアクセス特急の停車要望があるものの、印西牧の原駅についての要望はほとんどない
- ・以上のことから、印西牧の原駅へのアクセス特急の停車は考えていない



め、北総鉄道社と意見交換していく」との、これまでにない答弁を引き出すことができました。引き続き、県による同社への取り組み状況について目を向けてまいります。

●地元自治会連名で北総鉄道社に要望

さて、令和元年に京成電鉄社が明らかにした、アク特急が印西牧の原駅に停車しない理由は、「乗車人員の少なさ」と「要望の声がほとんどない」ということ。周辺人口の激増により乗車人員が増加傾向にある中、この 10 月には地元自治会の連名で、印西牧の原駅へのアクセス特急停車等についての要望書が北総鉄道社に提出されとのこと。その機運は高まりつつあるところです。

地元住民の声を一つにし、北総鉄道社や京成電鉄社、千葉県への息の長い働きかけが求められるところです。

公立高入試で採点誤り マークシート式など改革へ

今年2月に実施された県公立高入試において、98校で933件が発覚した採点誤り。県教委が再発防止策を発表する一方、全受験者への答案写しの返却の実現が求められます。

●前年度分でも4校中3校40件の採点誤り

問題発覚のきっかけとなったのが、県立小金高校受験者による自己情報開示請求です。同校で当該受験者の答案を確認したところ、採点誤りがあったことが判明し、さらに他受験者についても再点検したところ、複数教科で複数名にわたる採点誤りが発覚。これを受け、県内全受験者の答案の一斉点検を実施したところ、県立高校120校中92校870件、市立高校7校中6校63件の採点誤りが明らかとなったのです。

県立津田沼高校(2名)、県立松戸高校(1名)など計5校6名の受験者については、本来合格とすべき受験者を不合格としていたこと、保管していた令和4年度学力検査の答案についても、4校中3校40件の採点誤りが確認され、令和4年度以前の入学者選抜学力検査においても多くの採点誤りがあったと推察されることは特に重大です。

●マークシート式問題導入など5つの改善策

県は採点誤りの原因として、採点期間の短さ、長時間にわたる採点業務、採点作業に集中できない採点者の環境、解答用紙における小問得点記入欄の不備を挙げ、構造的な問題があったことを認めています。その上で、マークシート式学力検査問題の採用、合否ボーダーライン付近の答案点検の実施、採点・点検を行うための臨時休業日の追

6年度県公立高入試の改善策

1	マークシート式	学力検査問題の解答方法は、記述式とマークシート式の併用型とする。
2	デジタル採点	記述式部分については各受験者の答案をスキャンした上で、別の採点者がそれぞれ採点を行って確認する。
3	答案の点検	合否のボーダーライン付近の受験者について答案を点検する。
4	臨時休業日	採点・点検を行うための臨時休業日を設定する。
5	同一方法で	採点・点検は、原則として全ての学校において同一方法で行う。

加設定などの改善策を発表しています。

●全受験者に答案写しデータの返却を

採点誤りを発見するための最も効果的な方法は、自身の答案を見て確認すること。しかし、学力検査の「点数」は、簡易な手続きにより請求した当日に知ることができる一方、「答案自体」を確認するためには複雑な手続きが必要です。

令和6年度入試からは各受験者の答案をスキャンし採点することとなるため、答案写しのデータを受検者に返却することがより容易となります。9月県議会本会議ではこの点を指摘した上で、県公立高入試において、全受験者に答案写しを返却することについて強く要望いたしました。

高校入試の結果は、受験者の人生を大きく左右するほどの大きな影響を与えるものであり、採点誤りが発生することがないよう、引き続き対策の強化を求めてまいります。

